新聞に挑戦して

渡邊　貫二（短期大学部　特任教授）

今から四十年近く前、就職して二年目頃だったと思います。当時一戸建ての官舎を先輩と二人で使用していました。前日は関東リーグのサッカーの試合で疲れが残った翌朝の、布団の上でボーとしていた時でした。先輩が私の部屋に入ってきて、「約束だよ、今日一日をかけて、この新聞を一面から隅から隅まで全部読むことができるか、やってごらん」と地方紙でない新聞だったと思いますが渡されました。実は数人でしたがやってみようかと話していたのですが、実際にやるとは思わなかったので私は忘れていました。先輩たちは実践していたようです。疲れていましたが約束なので簡単な気持ちで新聞を受け取り読み始めました。ところが読めない字は多く、意味の分からない言葉や文章も多くあり、なかなか進みませんでした。特に興味のない記事はチンプンカンプンでしたが目を通すだけで、読めない字は自然に飛ばしていました。写真などには時間をかけられませんし、広告などには目もくれません。大きな字を見るとほっとしたような気がしたのを覚えています。軽い気持ちで始めたのですが、時間の過ぎるのが早いこと早いこと、生活時間や食事以外は気力で目で追っていたようでした。読む場所を変えたり、寝転んだり、椅子に座ったりと姿勢を変えながら読んでいました。若い時でしたが目は疲れるし、体はだるくなるし、腰は痛くなり、頭はボーとしているのか内容はあまり覚えていませんでした。全部を読むことだけに集中して自分としてはかなり頑張ったつもりですが、残念ながら当日は数面しか読むことができなかったと記憶しています。その日はさすがに疲れて零時前には寝てしまいました。

冬季の試合や練習が少ない時期でしたので、その後も休日を利用して、何度か新聞を一日で全面を読むことに挑戦しましたができませんでした。他の人達も同じようでしたが聞くことはしませんでしたし、自分も意地があるのか話しませんでした。

言い訳になりますが、当時の新聞でも、毎日毎日の記事の量がこんなにも多く、多面にわたっていることに改めて気付かされましたし、二十面近くあったように記憶しています。

この体験からですが、多くの情報を毎日提供している新聞社に感心するやら感謝しました。普段の生活で新聞に期待していたのは、スポーツ欄の試合の結果などや社会面ではこんなことが起きているのかといった程度でした。当時の自分の生活では、テレビより自分が知りたい情報を得るためには新聞の方が詳しく分るようでしたので利用していました。

新聞を読むことから得られる学習効果等については、今更わたくしが話すまでもないことですが、小、中、高校等でも新聞を教材にした授業が行われるように、新聞から得られる多くの情報やコラムなどの内容は、学校だけでなく大人になっても社会生活を送るうえにおいても活かしていく参考資料になるものと思います。全てではありませんが高い信頼性が新聞にはあると思っています。

新聞を一日ですべて読むことへの挑戦は、長くは続けることはできず、結果的には失敗でしたが、今ではいい思い出になっています。当時の働く仲間からは良い影響を受け、自分自身、何がなんでもやってやろうという、意志を通して得られたものは、よい経験だったと思います。皆様も自分の生活・その他でも、最初から無理だと決めつけずに挑戦すること、また継続することが大切だと思います。最初はあまり気がのらないことでも善いと思われることには、無理がなければ若さで乗ってみる（実行する）ことが必要ではないでしょうか。経験から言わせていただければ、趣味やその他の集まり、地域の仕事やボランティアをする年齢になってではありますが、このような経験をしたから、現在の生活圏で私は実践できているのだと（自信過剰ですが）思っています。

今あなたは、何に挑戦していますか？？？

私にとっての本・読書

伊藤　美栄子（短期大学部　講師）

図書館報執筆の依頼を受けて早半年、心の中ではいつもとどめておいた原稿の締め切りまであとわずかとなってしまった。そこで、本とのつきあいをとりとめのない文ではあるがまとめてみようと思う。

十代、二十代の頃、趣味は何かと聞かれると特に趣味を持っていたわけではない私は、ちょっと考えて「う～ん、読書かな」なんて答えていたと思う。読書と言えば何とかなる、大丈夫と思っていたような気がする。

小学校時代、特に高学年の頃は、外で遊ぶことは少なくて、「小公女」とか「秘密の花園」といったものから、アルセーヌ・ルパンシリーズなど、どちらかというと外国ものを図書館で借りては読んでいた。そして、小説ばかりではなく、漫画も結構読んでいた。

余談ではあるが、私は強い近視である。当時まだ近視が今ほど気にされることがなく、注意されることもなかったので、暗いところで読んだりなど、目に悪いことを相当していたように思う。そのためかどうか、四年生の頃には眼鏡が必要な状態であった。それでもまだ本を読んでいたように思う。

中学校時代は、クラブ活動や高校受験を控えてあまり本は読んでいなかったように思うが、それでも、受験勉強の合間にモンゴメリの「赤毛のアン」シリーズや「足長おじさん」、叔父が買ってくれた「少女パレアナ」などを読んで、胸をときめかせていた。この頃はあまり図書館には行かず、もっぱら新潮文庫など文庫本を買って読んでいたように思う。

高校時代、一・二年のある時期、図書クラブに所属していた。自分から率先して入ったわけではなく、友人に誘われて入ったのだが。もう遠い過去のことなので記憶がさだかではないが、書庫の整理をしたり、本の貸し出しをしたり、時には、司書の先生とおしゃべりをしていたと思う。図書クラブの活動に、夏休み中に、他校の図書クラブを訪問して交流会をすることがあった。図書部員として本はしっかり読み、自分で小説を書いたりしていること等を聞き、感心したものである。当時の私は、どれも深く読みこなしたわけではなく、相変わらず外国のしかも同じ作者の小説を読むことが多かった。明治時代の日本文学は、旧仮名遣いが読みづらく、敬遠していたことが大きな理由だったと思う。

大学時代になると、読書の傾向は、推理小説、謎解きめいた歴史物になった。エラリークイーンの推理小説を読み始めたことをきっかけにそれ以後今日に至るまでずっと推理小説系を読み続けている。読んでいる過程の謎解きがおもしろく、引き込まれて時を忘れるときもあった。謎解きといえば古代日本の検証というかそういったものも好きでよく読んでいる。日本史を題材にしたシリーズ化された小説もよく読み、次の作品が出版されるのを心待ちにしている自分がいる。そんな中で、漢字が並んでいる人名や物事が、わずかながら読めるようになったのは、嬉しいことだった。

自家用車通勤をしていた頃にはほとんど本が読めなかったが、今、電車通勤をしていることで、瀬木学園図書館で借りたりしてずいぶん本を読むことができている。ただ、読むときに、通常のメガネでは読みづらく、はずして読むことになり、その点がちょっと煩わしいかなと思うところである。

生け花、琴といろいろ手を染めているが、今、「趣味は何？」と聞かれたら、迷うことなく読書と答えるだろう。

図書館クルーにインタビュー！

図書館には大学生６名、短大生４名の「図書館クルー」と呼ばれる学生アルバイトがいます。書架整理、カウンター業務、本の装備などをしています。今回はその中から約２年間クルーをしている短大生３名に色々聞いてみました！

左から　＊＊　＊＊さん（＊＊＊＊＊＊＊＊＊２年）
＊＊＊＊＊さん（＊＊＊＊＊＊２年）
＊＊　＊＊さん（＊＊＊＊＊＊２年）

Q1 図書館クルーを始めた動機は？

＊＊：オリエンテーションで司書の方がアルバイトの話をしてくれて興味を持ちました。
もともと本が好きだったし、空き時間にできるアルバイトがしたかったので。

＊＊：募集のメールが図書館から届いたからです。瑞穂高校出身なので、高校時代に図書館や司書の方の姿を見ていたので興味もありました。

＊＊：私もメールです。アルバイトが初めてだったので学校の紹介なら安心だと思いました。

Q2 図書館クルーをして良かったことは？

＊＊：どんな本がどこにあるか分かるので、レポートの時などすぐに探せることです。図書館の利用回数も増えました。

＊＊：装備の作業など、新しい本を見る機会があるから嬉しいです。装備をしながら「この本借りたいな」って思っています。

＊＊：友人が増えたことです。

Q3 周りの友達の反応は？

＊＊：学校内のアルバイトでうらやましいと言われました。

＊＊：私の専攻は本で調べる課題が多いので、友達から一緒に図書館に行こうと頼まれたり本の探し方や場所を聞かれたりします。

＊＊：私も友達から、どんな本がおすすめか質問されます。

Q4 今後の抱負は？

＊＊：始めは利用者対応が不安でしたが、何とかできるようになりました。この経験を社会でも活かせたらいいなと思います。

＊＊：図書館の活用方法が前より詳しくなったし、卒業後も図書館に通いたいなと思います。

＊＊：私もこれからも図書館を利用したいと思います。高校時代は本を読みませんでしたが、クルーになり本に触れたことで、本はネットより分かりやすいし的確だなと感じました。勉強には絶対に本の方がいい！！

＊＊：ネットで見たことはすぐに忘れてしまうけど、本で調べると手間がかかる分、頭に残るよね。

利用者へメッセージ☆

＊＊：新着本も次々入って、ジャンルも豊富なので、読みたいものが必ず見つかると思います。

＊＊：分野ごとに本が並んでいるし各コースの特集書架もあるので、ほしい本が探しやすいです。ぜひ、ネットではなく本を利用してほしいです。

＊＊：分館は 20 時まで開館しているので、集中して勉強できます。

３人：とにかく図書館を利用してください！！

発　行：名古屋市瑞穂区春敲町 2-13　瀬木学園図書館　2016 年 12 月　NO.35　印刷：富士ゼロックスサービスリンク㈱